Kurume College	Year	2022	Course Title	Liberal Arts Seminar 2(Digital Humanities)

Course Information

Course Code	4MR21	Course Category	General / Compulsory
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 1
Department	Department of Materials System Engineering	Student Grade	4th
Term	Second Semester	Classes per Week	2
Textbook and/or Teaching Materials	教科書は使用せず、適宜資料を配布する。参考書については、各テーマに関連するものを授業内で紹介する。		
Instructor	常木　佳奈		

Course Objectives

1. 人文学研究の意義を正しく理解し、先行研究を的確にレビューできる。
2. アーカイブされている文化資源の特性を正しく理解し、既存のアーカイブを的確に批判することができる。あわせて、文学作品や文化に対して、敬意を払って接することができる。
3. 先行研究や既存のアーカイブなどを参考にオリジナルなデジタルヒューマニティーズ（以下、DH）型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。

Rubric

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	人文学研究の意義を正しく理解し、先行研究を的確にレビューできる。	人文学研究の意義を理解し、先行研究をレビューできる。	人文学研究の意義を理解し、先行研究をレビューできない。
評価項目2	アーカイブされている文化資源の特性を正しく理解し、既存のアーカイブを的確に批判することができる。	アーカイブされている文化資源の特性を理解し、既存のアーカイブを批判することができる。	アーカイブされている文化資源の特性を理解し、既存のアーカイブを批判することができない。
評価項目3	先行研究や既存のアーカイブなどを参考にオリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。	先行研究や既存のアーカイブなどを参考にDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。	先行研究や既存のアーカイブなどを参考にDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできない。

Assigned Department Objectives

Teaching Method

Outline	デジタルヒューマニティーズ（以下、DH）とは、さまざまなデジタル技術を用いて文化資源にアプローチするという、文理融合型の学際的な学問分野を指すことばである。本授業ではテキストや古典籍、絵画作品（浮世絵・木版口絵）などの日本文化資源を中心に、それらに関連するデータベースを取り上げ、より良いアーカイブの構築に向けて議論を深めていく。授業を通じて、人文学研究の意義を正しく理解し、先行研究や既存のアーカイブを的確にレビュー・批判する力を身に着けるだけでなく、文学作品や文化に対して敬意を払って接する態度を養ってほしい。また、議論やプレゼンテーションを行う際には、自身のコミュニケーション能力の向上に積極的に努めることも期待する。
Style	・2～3週目には、DH関連の先行研究をレビューする。指定された論文などを読み、各自、担当箇所について解説できるよう、準備をしてくること。 ・4～9週目には、既存のアーカイブ批判を行う。指定されたデータベースやWEBサイトをあらかじめ閲覧し、アーカイブされている文化資源の特性などを整理しておくこと。 ・10～15週目には、先行研究や既存のアーカイブなどを参考にオリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、そのプレゼンテーションを行う。資料作成のための準備時間を授業内に設けるが、時間が不足する場合は各自で準備を進めておくこと。
Notice	【事前学習】 ・「授業の進め方」参照。詳細については、授業内で指示する。 【成績評価】 ・満点を100点とし、60点以上の者を合格とする。 ・授業への参加度（課題・発言など）40%、最終プレゼンテーション60%を目安として評価する。 ・授業への参加度を考慮し、必要と認めた場合、補充レポートなどを課す。

Characteristics of Class / Division in Learning

☑ Active Learning	☑ Aided by ICT	☐ Applicable to Remote Class	☐ Instructor Professionally Experienced

Course Plan

			Theme	Goals
2nd Semester	3rd Quarter	1st	オリエンテーション　授業の進め方について DHの歴史、基本的な考え方	DHの歴史と基本的な考え方を理解できる。
		2nd	DH型プロジェクト研究のレビュー①	指定された論文などを読み、担当箇所を的確にレビューできる。
		3rd	DH型プロジェクト研究のレビュー②	指定された論文などを読み、担当箇所を的確にレビューできる。
		4th	浮世絵とアーカイブ①（「浮世絵ポータルデータベース」ほか）	既存のアーカイブを批判し、より良いアーカイブに向けて議論を深めることができる。
		5th	浮世絵とアーカイブ②（「IIIF」ほか）	先行研究をもとにし、DH型の文学・美術研究の着眼点や方法を理解できる。
		6th	古典籍とアーカイブ①（「古典籍ポータルデータベース」ほか）	既存のアーカイブを批判し、より良いアーカイブに向けて議論を深めることができる。
		7th	古典籍とアーカイブ②（くずし字解読関係のシステムほか）	先行研究をもとにし、DH型の文学・美術研究の着眼点や方法を理解できる。
		8th	テキストとアーカイブ①（「青空文庫」ほか）	既存のアーカイブを批判し、より良いアーカイブに向けて議論を深めることができる。
	4th Quarter	9th	テキストとアーカイブ②（「KH Coder」ほか）	先行研究をもとにし、DH型の文学・美術研究の着眼点や方法を理解できる。

		10th	近代木版口絵とアーカイブ（「近代木版口絵ポータルデータベース」ほか）	DH型プロジェクトの立ち上げから遂行までを理解し、最終プレゼンテーションへ向けて構想を膨らませることができる。
		11th	最終プレゼンテーションの準備①	特定の文化資源を取り巻く背景について整理できる。また、その文化資源の特性を正しく理解できる。
		12th	最終プレゼンテーションの準備②	特定の文化資源を取り巻く背景について整理できる。また、その文化資源の特性を正しく理解できる。
		13th	受講生によるDH型プロジェクトの企画案発表①	先行研究や既存のアーカイブなどを参考に、オリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。他者のプレゼンテーションに対して、的確な指摘・質問ができる。
		14th	受講生によるDH型プロジェクトの企画案発表②	先行研究や既存のアーカイブなどを参考に、オリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。他者のプレゼンテーションに対して、的確な指摘・質問ができる。
		15th	最終プレゼンテーションの講評、DHの未来	これまでの授業を振り返り、DHの未来について考えることができる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	授業への参加度	最終プレゼンテーション	Total
Subtotal	40	60	100
基礎的能力	40	60	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0